

(2) 水産業の振興

主力であるホタテ養殖漁業が、稚貝の生育不良や大量への死の発生、度重なる台風被害に見舞われ、大幅な減産となり、堅調に推移していた中国などへの輸出も動きが鈍く、出荷最盛期をむかえ価格にも影響が表れるなど、一層厳しい経営が予想されます。

また、漁船漁業では海洋環境の変動により、イカやスケトウダラの不漁、秋サケは価格面で好調でしたが漁獲量は低迷し、大変厳しい状況です。こうした中で、地先・秋サケなどの回遊資源の回復や生産増大に向けた取り組みが重要であり、関係団体と連携して、安定生産に向けた資源づくり、漁場造成・資源管理を進め、海洋環境の変化やザラボヤなど有害生物への対策や生育阻害要因の原因究明など、引き続き関係機関へ要請してまいります。

また、今後も、台風・低気圧災害等に対する防災・減災対策など災害に強い漁業地域をつくり、安定的で持続可能な漁業を推進してまいります。

熊石地域では、北海道大学水産学部と共同で海洋深層水を活用した研究事業に取り組み、水産業・地域の活性化の

ため事業を推進してまいります。

水産物の消費流通対策では、産地として消費者に安全・安心な水産物の供給を最優先に、漁業者が主体となり消費拡大に向けた愛食運動の展開や6次産業化について推進してまいります。

また、担い手や漁業就労者対策、水産加工業の振興などさまざまな角度で支援し、漁港整備事業では、これまでの老朽化対策に加え、防災・防犯・衛生面など機能向上に向けて要請してまいります。

(3) 商工業の振興

八雲町の商工業者の大多数が小規模事業者ですが、地域経済の担い手として、非常に大きな存在です。

一方、将来を見据えると、事業所や就業者数、生産規模の維持について、非常に厳しい状況が想定されています。この事態に対応するため、既存事業者の円滑な事業承継や、新たな事業活動の展開など多面的な取り組みを促すことが重要です。このため、八雲町でのビジネスに関心のある町外企業との連携促進、町内外からの設備投資、新たなビジネスチャレンジへの総合的支援施策を、商工会など産

業・経済団体とともに検討し、具体化に努めてまいります。

熊石地域で展開する海洋深層水事業は、新たな事業展開を模索し、引き続き企業誘致活動に取り組んでまいります。

(4) 観光の振興

八雲町の経済基盤を支えるためには、他地域とは異なる「価値」の提供により域際収支の改善が重要です。

「観光」や「食」を中心とした「物産」は、八雲の地域特性を比較的表しやすく、また、外貨獲得に直結しやすい分野です。これまで培った観光や物産振興の手法を、さらに見直し、3年前から開始した近隣4町連携の取り組みも、より経済施策として進められるよう工夫して取り組んでまいります。

熊石地域では、道南休養村を中心に、観光客等・交流人口の拡大に努めてまいります。

(5) 雇用の創出と雇用環境の向上

少子高齢化や人口減少が加速する中、八雲町における産業の担い手不足、町外への労働力の流出が大きな課題です。この課題を各産業の課題とするだけでなく、産業・経済

団体と町が一丸となり、新たな視点による総合的な解決策を作り出すことが必要です。

このため、産業人材の町外への流出を防ぎ、町外からの産業人材を獲得するための仕組みづくりを進めてまいります。

また、地域に根差した既存企業、地域産業の発展に資する新規事業などに対する支援により、雇用の創出や雇用環境の向上に、産業振興の面からも取り組んでまいります。

(6) 再生可能エネルギーを活用した産業の振興

再生可能エネルギーは、地球環境の保全、産業の振興や住民福祉の向上において有効な地域資源です。町では「八雲町再生可能エネルギー導入促進ビジョン」を平成28年度に策定し、さまざまな取り組みを実施しており、今後も導入を進める中で、産業コストの低減、熱利用などによる新産業の創出などに結び付け、適正な設備導入の在り方や、立地企業による地域貢献の具

体化に向けた調整などの検討も進めてまいります。

3. 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進

(1) 健康づくりの促進

地域や関係機関と連携し、町民の健康意識の高揚と健康づくりに取り組むための知識の普及啓発に努めてまいります。

また、町民が自分の健康状態に関心を持ち、疾病の早期発見・早期治療、生活習慣病の予防・改善を行うことができるよう各種健(検)診受診率の向上を図ってまいります。

特に、子宮頸がん・乳がん検診は、受診率向上を目的に一定年齢の対象者へ無料クーポン券の配布や集団・個別検診を引き続き実施してまいります。

乳幼児の予防接種は、子どもに体調に無理なく、また適切な期間に接種を完了できるように、平成30年度から一部のワクチンを個別接種化し、より安全な予防接種体制を確保してまいります。